

## 春の星座の探し方

- 1) 春には、北斗七星が頭上に見えます。春の星座は、北斗七星をまず見つけましょう。北斗七星を見つける方法は、本物の北斗七星は、こういう図よりずっと大きいことを頭に入れて探すことです。
- (2) 北斗七星は、北極星を見つけるのにも使います。北斗七星の升の一番右の部分の二つの星を5倍のばしたところ付近にある2等星が北極星です。この付近には、ほかに明るい星はありません。
- (3) 北斗七星の杖の部分をつつとのばすと、うしかい座の1等星、アルクトゥルスにぶつかります。
- (4) さらにそれをずっと、ずっと延ばしていくと、1等星にぶつかります。その1等星がおとめ座のスピカです。おとめ座の形を星空から探すことはなかなか難しいです。スピカから上～右の部分のY字形は、わりとわかりやすい。
- (5) 北斗七星と背中合わせのような状態で、しし座があります。しし座は、頭の部分の逆？マーク(大釜という)と、お尻の部分の直角三角形を探すと見つけやすいでしょう。レグレスは、北斗七星の升の2つ星を延長したところにあり、そうやって探す方法もあります。

(6) かみのけ座は、暗い星ばかりの星座ですが、実はMel. 111という星団です。距離288光年とかなり星団としては、近いところにあるのでかなり広がって見えています。このあたりには、「かみのけ座星雲団」「おとめ座銀河団」があり、空の暗いところで少し大きな天体望遠鏡を使うと、たくさんの星雲が見えます。

